

■ 第 55 回火災科学セミナーの開催について ■

主 催 (公社)日本火災学会
後 援 全 国 消 防 長 会
さいたま市消防局
京 都 市 消 防 局

東日本大震災に伴う原子力発電所の被災、森林伐採やCO₂の排出による地球温暖化など、国際社会において環境問題が議論されている中、近年、様々な産業分野において、地球環境に配慮した新エネルギーを資源とする製品開発が活発化しています。しかし、新エネルギーによる火災の発生や消防活動等への影響も懸念されており、その潜在的な災害要因はいまだ未知数となっています。

一方、災害現場において、消防隊員は予測しない事態に遭遇し、危険な状態に陥ることが考えられ、また、消火活動や救助活動による肉体的、精神的負担は大きいことから、ロボットを用いた災害対応について研究が進められています。

日本火災学会では、これらのテーマについて、有識者による講演をお願いし、さいたま市と京都市において下記のとおり「火災科学セミナー」を開催することにいたしました。

つきましては、会員の方はもとより、消防関係者、一般の方々にも多数ご参加くださるようご案内申し上げます。

記

●東日本会場 :日時 平成 28 年 11 月 2 日(水) 13 時 00 分から16 時 30 分

(さいたま会場) 場所 「浦和コミュニティーセンター 多目的ホール」

(埼玉県さいたま市浦和区東高砂町 11-1 浦和 PARCO・コムナーレ 10 階)

JR 線「浦和駅」東口より徒歩 1 分

●中部・西日本会場:日時 平成 28 年 11 月 8 日(火) 13 時 00 分から 16 時 30 分

(京都会場) 場所 「京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)」

(京都府京都市南区東九条下殿田町 70 番)

JR「京都駅」(八条口西口)より南へ徒歩 15 分、

近鉄「東寺駅」、地下鉄「九条駅」より徒歩 5 分

●さいたま会場 11月2日(水) (定員 400名)			●京都会場 11月8日(火) (定員 856名)		
[主題] 新エネルギーへの変換による潜在的な災害要因			[主題] 最新技術を活用した災害対応の未来		
時間	テーマ	講師	時間	テーマ	講師
13:05 ～ 14:05	太陽光発電システムの火災と消防活動上の危険性	消防研究センター 田村 裕之	13:05 ～ 14:05	消防防災分野のロボット技術と今後の展望	消防研究センター 佐伯 一夢
14:15 ～ 15:15	水素・燃料電池自動車の消火・救助および事故後処理の対応 (一財)日本自動車研究所	田村 陽介	14:15 ～ 15:15	災害対応ロボットの遠隔操縦技術	神戸大学大学院 横小路 泰義
15:25 ～ 16:25	電気自動車の構造・技術と安全性	諏訪東京理科大学 高橋 直人	15:25 ～ 16:25	消防・救援活動における自律ロボット技術	立命館大学 深尾 隆則

参加料(テキスト含む):会員(賛助会員及び後援団体職員を含む。)及び消防職員 2,000 円, 一般(非会員)4,000 円

申込方法: 参加料の納入をもって申込受付とします。(ただし、定員になり次第締切りとなります。)

1 郵便振込の場合(郵便振込「払込取扱票」のご利用をお願いします。)

振替口座番号 0180-4-58454 (公社)日本火災学会

払込取扱票の通信欄に参加会場名・勤務先名(複数参加の場合、参加者名)を記入してください。また、払込人住所氏名欄には参加者氏名(複数参加の場合は、代表者名)・連絡先住所、電話番号を記入してください。到着受付後、受講票をお送りします。(領収書は、当日会場でお渡します。)

2 現金書留の場合

所要事項(氏名、事業所名、連絡先住所、電話番号)を記載し、送金してください。

申込みを受け付け次第、受講票をお送りします。(領収書は、当日会場でお渡します。)

申 込 先: 〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

(公社)日本火災学会 Tel:03-3813-8308 Fax:03-5689-3577 E-mail:kasai50@sepia.ocn.ne.jp